

西暦	和暦	干支	長左衛門年齢	長左衛門履歴	国内の出来事	海外の出来事
1834	天保5年	午	9月5日誕生 0歳	午年九月五日ヲ以ッテ津二番町ニ生ル。		
1835	天保6年	未	1歳			アメリカのモリスが電信機を発明
1836	天保7年	申	2歳		天保騒動	
1837	天保8年	酉	3歳		大塩平八郎の乱	
1838	天保9年	戌	4歳		モリソン号事件	
1839	天保10年	亥	5歳		江戸城西の丸炎上	
1840	天保11年	子	6歳		畜社の獄	イギリスにチャーチスト運動が起こる
1841	天保12年	丑	7歳	八歳ニシテ母ヲ喪ヒス。	天保の改革	清・イギリス間にアヘン戦争 ドイツのマイヤーが「エネルギー保存の法則」を発見
1842	天保13年	寅	8歳	九歳1842年ニシテ亦父ヲ喪フ。幼童ニシテ、双親ト死スルノ不幸之レヨリ大ナルハ莫シ。是ノ時ニ当リ祖父ノ歳七旬ヲ過ルト雖ドモ、幸ニ死未ダニ然リト雖ドモ、我年少ニシテ、一戸ヲ維持スル能ズ。茲ニ於テ邸地ヲ奉還シ、	異国船打ち払いの方針・指示	南京条約 → 香港島をイギリスに割譲
1843	天保14年	卯	9歳	翌年五月祖父翁ニ従フテ、亡父ノ弟山崎、叔父ノ家ニ同居ス、又茲ニ弟児、五三郎アリ。歳僅カニニ托シテ、亡父ノ妹婿山崎直清氏の介抱ヲ受ケ。去年父没スルノ際ニ臨ニテ上臈。故ニ、跡目相続縁故ノ如ク、百二十石ヲ賜フ。	イギリス軍艦サマラン号八重山諸島に上陸・測量を強行 フランス船アルクメール号琉球に来港、通商を求め オランダ国王ウィレム2世、親書(草案はシーボルト)を送り開国を勧告	
1844	弘化元年	辰	10歳		江戸城炎上	
1845	弘化2年	巳	11歳		アメリカ船マンハッタン号漂流民を乗せ浦賀に来港、通商を求め イギリス船サマラン号長崎に来港	
1846	弘化3年	午	12歳		アメリカ捕鯨船(マーケイター・クーパー船長)浦賀に来港 日本人漂流民を送還	
1847	弘化4年	未	13歳		孝明天皇	
1848	嘉永元年	申	14歳		アメリカ船・東インド艦隊司令長官ビッドル、浦賀に来港 通商条約を求めが幕府は拒絶	
1849	嘉永2年	酉	15歳		信濃・越後方面で大地震	
1850	嘉永3年	戌	16歳	嘉永三年 歳、始メテ十有七歳。職ヲ馬医見習ニ拜ス。	ジョン万次郎 アメリカ船で帰国	洪秀全、広西省に挙兵 太平天国の乱
1851	嘉永4年	亥	17歳	同年四月江都ニ出て、幕臣落合氏ノ門ニ入り、研究スル事果年果シテ該門ノ奥伝ヲ受け、夫レノ賞トシテ金ヲ賜フ。同年馬医本役ノ命ヲ拜ス。是ヨリ先キ、嘉永三年六月終ニ祖父卒ス。年八十有二	オランダ商館長クルティウス オランダ風説書にてアメリカ艦隊来航を通告 以前にオランダとの通商条約を結ぶことを提案するが幕府拒絶	
1852	嘉永5年	子	18歳		江戸城西の丸炎上	
1853	嘉永6年	丑	19歳		アメリカ・東インド艦隊指令ペリー浦賀に来航 ロシアのプチャーチン長崎に来航	イギリス・フランス・トルコがロシアと戦う(クリミア戦争)
1854	安政元年	寅	20歳		日米和親条約締結 下田と函館が開港	
1855	安政2年	卯	21歳		日露和親条約締結 安政の大地震	
1856	安政3年	辰	22歳		アメリカ総領事・ハリス 下田に着任 第13代将軍・徳川家定 篤姫 結婚	アロー戦争
1857	安政4年	巳	23歳		松下村塾が開校 ハリスが江戸城に登城 将軍に謁見 日米下田協約を締結 長崎が開港	
1858	安政5年	午	24歳		咸臨丸 日本へ回航 井伊直弼 大老となる 日米修好通商条約を締結 神奈川・長崎・新潟・兵庫が開港 将軍・徳川家定没 徳川家茂(慶福) 第十四代将軍に就任 安政の大獄	
1859	安政6年	未	25歳		ドイツ医師・シーボルト、長崎に再度着任	イギリスのダーウィンが『種の起源』を著す イタリア統一戦争
1860	万延元年	申	26歳		勝海舟・福沢諭吉・ジョン万次郎など咸臨丸でアメリカへ出航 桜田門外の変 大老・井伊直弼、桜田門外で暗殺される	英・仏連合軍が北京を占領 北京条約(英・仏・露) 洋務運動おこる(同治中興)
1861	文久元年	酉	27歳			アメリカ南北戦争(～1865) イタリア王国が建国される ロシアのアレクサンドル2世が農奴解放令発布
1862	文久2年	戌	28歳		和宮、第14代将軍・徳川家茂と結婚 生妻事件 参勤交代緩和	
1863	文久3年	亥	29歳		浪士組(のちの新撰組)結成 薩英戦争 八月十八日の政変	アメリカ大統領リンカーンが黒人奴隷解放宣言
1864	元治元年	子	30歳		池田屋事件 新選組、池田屋で会合中の宮部鼎蔵・吉田稔磨らを急襲 蛤御門の変 第一次長州征伐 アメリカなどの四国艦隊、長州藩の下関砲台を占拠	ロンドンで国際労働者協会(第一回インターナショナル)が結成される
1865	慶応元年	丑	31歳			オーストリアのメンデルが「遺伝の法則」を発見 普墺戦争
1866	慶応2年	寅	32歳		薩長同盟 将軍・徳川家茂没 幕府は家茂の喪を伏せる 徳川慶喜第十五代将軍に就任 幕府、家茂の喪を発する 孝明天皇長州征伐休戦の勅命を下す 孝明天皇 崩御	
1867	慶応3年	卯	33歳		明治天皇 踐祚 パリで万国博覧会開催。幕府・佐賀藩・薩摩藩が出品 坂本龍馬、船中八策を示す 東海、近畿でええじゃないかが流行 討幕の密勅	アメリカがアラスカをロシアから買収 スウェーデンのノーベルがダイナマイトを発明
1868	慶応4年 明治元年	辰	34歳		明治天皇 大政奉還を勅許 坂本龍馬・中岡慎太郎 暗殺 王政復古の大号令 鳥羽伏見の戦い 旧幕府軍が敗退 明治天皇 五箇条の御誓文を発する 江戸城無血開城 福沢諭吉 慶応義塾を開塾 江戸を東京と改称 明治に改元 江戸を皇居とする	
1869	明治2年	巳	35歳	明治二年、藩政改革、ノ時二当り、馬鞍ヲ転ジテ士隊分隊長ニ拜ス、	東京に遷都 太政官制 版籍奉還実施 蝦夷地を北海道と改称 東京横浜間に電信開設	スエズ運河が開通
1870	明治3年	午	36歳	同三年五月更ニ命ヲ士隊分隊長ニ發シテ、同年十一月朝上日ノアルニ由リ、士隊解隊トナル、同十二月解隊ノ事ニ因テ、藩ニ内変ヲ生ズ。是ノ時、主君ヨリ、直ニ内命ヲ受ケテ、鎮撫ノ事ヲカム賞トシテ金ヲ賜フ。同月鎮定ノ后干、更ニ常備兵ヲ編製アリ、是ノ時、命ヲ一等分隊長ニ拜ス。	郵便制度開始 新貨条例 廃藩置県 大隈重信・板垣退助 参議に就任 岩倉使節団派遣 府県を三府七十二県とする	普仏戦争 ドイツ帝国成立(～1918) ヴィルヘルム1世が初代皇帝にビスマルクが初代宰相に就任
1871	明治4年	未	37歳			パリ・コミュン
1872	明治5年	申	38歳	同五年一月廃藩置県ノ際ニ当リ、常備兵解隊トナル。同月安濃津県警備掛ヲ拜命ス。同年四月県庁ヲ三重郡ニ移シテ、三重県ト称ス。是ノ年五月警備掛ヲ辞ス。同六月副府長ヲ拜命ス。疾ヲ以テ辞ス。	御親兵廃止 近衛兵設置 学制公布 東京師範学校が開校 新橋横濱間に鉄道が開業 琉球王国を琉球藩として国王・尚泰を華族にする 年季奉公を禁止 太陽暦が採用され12月4日が明治六年元旦となる	
1873	明治6年	酉	39歳	同六年二月公立安濃津学業目付役ニ備ル。	徴兵令を発布 地租改正条例を定める 内務省を設置 板垣退助ら民選議院設立建白書を提出 佐賀の乱 佐賀で不平士族が挙兵 台湾出兵 陸軍中将・西郷従道ら台湾に上陸 三宅島噴火	
1874	明治7年	戌	40歳			
1875	明治8年	亥	41歳	同八年七月ニ至ルマデ務、同月師範学校ヲ安濃津ニ開設アリ。其時該會會長ヲ拜命ス。	樺太・千島交換条約締結 新聞紙条例を制定 江華島事件 日本の軍艦が朝鮮江華島要塞を攻撃	イギリスがスエズ運河株を買収
1876	明治9年	子	42歳	同九年九月転ジテ学区取締役ニ任セラル。同十二年三月区画改正ノ際、学区取締役ヲ	廃刀令を発布 日朝修好条規調印 秩禄処分 医学者・ベルツ 東京医学校教授に就任 クラーク 札幌農学校教頭に就任	
1877	明治10年	丑	43歳		西南戦争勃発	アメリカのエジソンが蓄音機を発明 イギリスがインド帝国をつくる
1878	明治11年	寅	44歳		パリ・コミュン	
1879	明治12年	卯	45歳		沖繩県の設置(琉球王国の消滅)	エジソンが白熱電灯を発明
1880	明治13年	辰	46歳			